

日程

	8/19(水)	8/20(木)	8/21(金)	8/22(土)	8/23(日)	8/24(月)
午前		到着・受付	キーノート レクチャー	キーノート レクチャー	一般発表	オプション ツアー
			ブレイク	ブレイク	ブレイク	
			一般発表	一般発表	一般発表	
			昼食	昼食	昼食	
午後	ISHPES 評議会 ミーティング	オープニング イベント	一般発表	ソーシャル プログラム (バンケット)	一般発表	クロージング セレモニー
			ブレイク		ブレイク	
			一般発表		総括	
			総会			

会場

北海道大学学术交流会館

〒060-0811 札幌市北区北8条西5丁目

※JR「札幌駅」下車、徒歩10分。正門より入って左側2棟目

※当施設には駐車場がございません。



大会組織委員会

組織委員長・ISHPES副会長 池田 恵子

ISHPES会長 アネット・ホフマン

ISHPES事務局長 サンドラ・ヘック 他

実行委員会

大沼 義彦(日本女子大学)

崎田 嘉寛(北海道大学)

瀧元 誠樹(札幌大学)

竹谷 和之(神戸市外国語大学)

山崎 貴史(北海道大学)

共催学会(スポーツ史学会)

三井 悦子(椋山女学園大学)

松本 芳明(大阪学院大学)

谷釜 尋徳(東洋大学)

福井 元(日本体育大学)

松浪 稔(東海大学)

大会学術委員会

大会組織委員長およびISHPES評議会構成員による

事務局

〒060-0811 北海道札幌市北区北11条西7丁目

北海道大学大学院教育学研究院 身体教育論講座内

ISHPES 2020 実行委員会

英語での問合せ(アブストラクト送付先ではありません)

E-mail: ishpeessapporo2020@gmail.com

日本語での問合せ(アブストラクト送付先ではありません)

E-mail: sakita@edu.hokudai.ac.jp

kikeda@edu.hokudai.ac.jp

大会使用言語

英語

(オープニングイベントは通訳有)

ISHPESホームページアドレス

<https://www.ishpes.org/>



日本語用ホームページアドレス

<http://www.ec-pro.co.jp/ishpeessapporo2020>



ISHPES Congress Sapporo2020

大会テーマ

スポーツ史と学際性

東京オリンピック・パラリンピック 2020を機に考える

Sport History and Interdisciplinary Relations
in the Year of the Tokyo Games 2020

2020年8月20日(木)~24日(月)

19日:ISHPES評議会ミーティング 24日:オプションツアー

共催
スポーツ史学会

後援
体育史学会
北海道大学大学院教育学研究院



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

開催にあたっての挨拶

東京オリンピック・パラリンピックの開催年に国際学会を主催し、体育・スポーツ史の歩みとその学際性について議論することは、国際的な学術的磁場を提供することにつながります。開催地は交通上の混乱を避け、東京から離れた札幌の地と致しましたが、新千歳—羽田間のフライトは世界有数の就航本数を誇り、東京大会に興味のある訪問者が移動するのに便利な場所でもあります。プログラムでは、招聘研究者によるキーノートおよび一般発表を予定しています。2020年を契機に国際的な学術交流を深め、学術成果を更新することがISHPES札幌大会を開催する目的です。2020年の夏、札幌の地で一人でも多くの研究者の皆さまとお会いできますようお待ちしております。

大会組織委員長・北海道大学 池田 恵子

大会テーマ趣旨

体育・スポーツ史研究は歴史学の方法論に依拠し、人文諸科学および自然科学の学問体系との学際的交流、事象の理論化、事例研究を含む幅広い観点を通じて発展してきました。同時にオリンピズムの思想は狭いスポーツ教育思想を意味せず、全人的で包括的な人類哲学に貫かれています。近代諸科学の分化、専門化は各領域の高度化に貢献しましたが、専門分化の高度化の弊害は領域ごとの閉鎖性を生み、学際的連携を拒む体質は今日再考されつつあります。この機に体育・スポーツ文化が元来異文化横断的かつ越境的、マルチ・ラテラルな性格のものであることを踏まえつつ、国際的な地平のもとで「スポーツ史と学際性」の問題を探究することを目的とします。



オープニングイベント

「不死」の時代における武術継承の意味を考える(予定)
現代社会は、戦争の形態や意味が大きく変容し、AIや医科学の進展により、「死」の在り方は様変わりした「不死」の時代と言えましょう。この現代において、武術を継承する意味を考えます。武術の演武、表演者らによるシンポジウムを実施します。

発表申し込み期間

申し込み
開始日

2019年12月15日(日)

申し込み
締め切り日

2020年 2月15日(土)

発表種別

- ①口頭発表
- ②ポスター発表

発表申し込み資格

ISHPES会員のみ発表可能

※セカンドオプサーは非会員可

参加費

早期申し込み(5月31日まで)	事前申し込み(6月1日以降)
学生 6,000円	学生 10,000円
会員 33,000円	会員 38,000円
非会員 37,000円	非会員 42,000円

オープニングイベントは一般公開いたします。(入場無料)

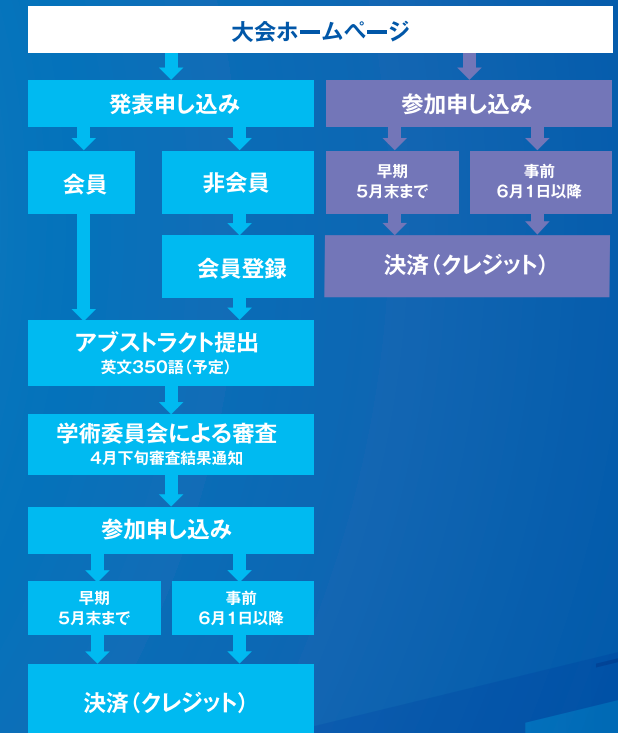
●参加費に含むもの

プログラム集、昼食、コーヒー・お茶、ソーシャルプログラム

●参加費支払い方法

クレジットカードのみ

申し込みフロー



※ポスター発表もアブストラクトの提出が必要
※会員登録はISHPESホームページから
<https://www.ishpes.org/new-membership-application>
※1年会員費:35ユーロ/40ドル
2年会員費:55ユーロ/65ドル

ISHPES(国際体育・スポーツ史学会)

International Society for the History of Physical Education and Sportは欧州・豪州・アジア・南北アメリカ・アフリカを含む世界34か国以上(2015年ISHPES評議会公表データに基づく)の国の研究者からなる学術団体です。

The 2020 Yokohama Sport Conference

Yokohama Sport Conferenceが2020年9月8～12日の日程で、横浜にて開催されます。

※詳細は以下のウェブサイトをご覧ください。
<http://yokohama2020.jp/overview.html>